

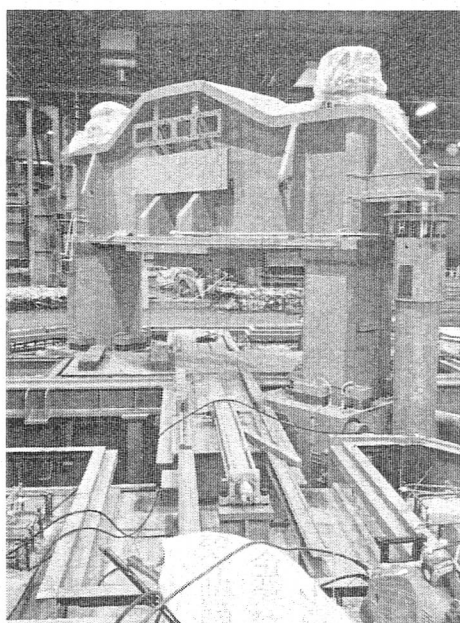
2020年（令和2年）5月26日・火曜日

収束後の新しい世界 「新常态」けん引

鍛造工程に大型プレス機導入、
工場用地も取得し将来に布石

三芳合金工業

特殊銅合金を製造する三芳合金工業（三芳町）は現在1500トプレス機を導入中。鍛造工程の生産性を大幅に引き上げるとともに、作業者の安全性向上や作業環境の改善につなげるのが狙いだ。現在は最大2トのハンマー装置で複数の工員が手作業で鍛造してい



金属塊も加工できるため、生産性は2倍以上となる見通しだ。新型コロナウイルスの影響で工期がやや遅れたものの「9月には稼働できる。航空機や半導体関連など、あらゆる部材の生産拡充に貢献できる」（萩野源次郎社長）と期待する。また、近接地に約2000平方メートルの土地を取得。近い将来、レイアウト変更を含む工場全体の最適化を計画するなど、次のステップに向けた布石を着々と打っている。

現在建設中の1500トプレス機は同社にとって初のプレス機導入となる